

学修概要

口腔や歯の健康の維持増進はより良い生活を過ごすために欠くことができないものである。人々の口腔や歯の健康増進に関わるにあたり、歯科衛生士に必要なその支援方法を学び、知識および技術を修得する。

- 教科書：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論（医歯薬出版） 必要に応じてプリントを配布する。
- 授業時間：（1）火曜日 11：00～11：50
（2）金曜日 13：00～15：50（実習は半数ずつ行う）
- オフィスアワー：鈴木 雅子 （suzuishim.masako@nihon-u.ac.jp）
月曜日～金曜日 9：00～17：00
- 授業の方法：教科書と授業で配布するプリントを中心に、プロジェクトを利用した講義形式を進める。実習では、グループワークや相互実習を行うため準備学習も含め積極的に取り組むこと。
- 準備学習・
準備学習時間：事前に教科書を読み講義内容を予習すること。
復習は教科書、プリントを合わせ、理解を深めること。
実習に関しては、実習内容のプリントを読み理解を深めておくこと。
掲示を確認し、実習準備を行うこと。
授業時間相当を充てて予習復習をすること。
- 成績評価：定期試験（80%）、実習レポート、10回（20%）を総合して評価を行う。
- 注意事項：実習の時は身だしなみを整え、忘れものをしないこと。
- 実務経験：鈴木 雅子：歯科病院、歯科医院、高齢者施設での勤務経験を持つ。その経験を基に歯科衛生士の立場から口腔の健康増進につながる歯科保健の支援方法をより具体的に修得できる講義、実習にしたいと考えている。
金井 美保：日本大学歯学部附属歯科病院に歯科衛生士として勤務経験がある。その臨床経験から、患者の生活習慣の改善に結び付けるため、漠然としたものではなく根拠をもった歯科保健指導ができるようにアドバイスしたいと考えている。
大場 理恵：歯科衛生士として一般歯科だけではなく矯正歯科、小児歯科に携わる臨床経験を持つ。その経験を基に多様な患者に対応できる実践的な歯科保健支援の手段を学ぶことのできる場にしたいと考えている。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1回(1) 10月1日(火) 鈴石 雅子	指数Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> 口腔観察法による表面の歯垢付着状態を数量化したものを学び、計算できるよう習得する。
第2回(1) 10月8日(火) 鈴石 雅子	指数Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> 口腔観察法による表面の歯垢付着状態を数量化したものを学び、計算できるよう習得する。
第3回(1) 10月15日(火) 鈴石 雅子	指数Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> 口腔観察法による表面の歯垢付着状態を数量化したものを学び、計算できるよう習得する。
第4・5・6回 (2) 10月18日(金) 10月25日(金) 鈴石 雅子 金井 美保 大場 理恵	O' Leary のプラークコントロールレコード	<ul style="list-style-type: none"> 相互実習にて染め出しを行い、PCR を記録する。 綿球塗布法を習得する。プローブの操作法を習得する。
第7回(1) 10月29日(火) 鈴石 雅子	コミュニケーションⅠ	<ul style="list-style-type: none"> 患者さんと接するにあたり、コミュニケーションの重要性について学ぶ。
第8回(1) 11月5日(火) 鈴石 雅子	コミュニケーションⅡ	<ul style="list-style-type: none"> 個々の適切な歯科保健行動を取ることができるように助言し、援助することについて理解する。
第9・10・11回 (2) 11月8日(金) 鈴石 雅子	オリジナル模型	<ul style="list-style-type: none"> 歯の形態、正常咬合、正常歯列を理解し媒体の1つであるオリジナル模型を作製する。
第12回(1) 11月12日(火) 鈴石 雅子	質問法	<ul style="list-style-type: none"> 医療面接を行う際の基本的な質問の仕方について学ぶ。
第13・14・15回 (2) 11月15日(金) 11月22日(金) 鈴石 雅子 金井 美保 大場 理恵	T B I I	<ul style="list-style-type: none"> 作製したオリジナル模型で患者さんの口腔内を再現し、その人の口腔内環境を分析する。磨き残し箇所を把握、磨き方の方法の改善を計る。この流れを実習により習得する。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第16回(1) 11月19日(火) 鈴石 雅子	問診Ⅰ 業務記録	<ul style="list-style-type: none"> 問診の内容について学ぶ。 業務記録の内容について学ぶ。
第17回(1) 11月26日(火) 鈴石 雅子	問診Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> 問診の内容について、具体的な質問方法を学ぶ。
第18・19・20回 (2) 11月29日(金) 12月6日(金) 鈴石 雅子 金井 美保 大場 理恵	T B I Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> 理論的に話すコミュニケーションスキルについて学ぶ。 お互いに評価を行う。
第21回(1) 12月3日(火) 鈴石 雅子	指導計画立案	<ul style="list-style-type: none"> 保健指導を行うにあたり、患者さんの指導計画立案について学ぶ。
第22回(1) 12月10日(火) 鈴石 雅子	症例検討	<ul style="list-style-type: none"> 実際の症例をもとに、指導計画立案を行なう。
第23・24・25回 (2) 12月13日(金) 12月20日(金) 鈴石 雅子 金井 美保 大場 理恵	T B I Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> 問診を行い、その情報から指導計画を立て、オリジナル模型で患者さんの口腔内を再現し、口腔内環境を分析する。磨き残し箇所の把握、磨き方の方法の改善を計る。この流れを実習により習得する。
第26・27・28回 (2) 1月10日(金) 1月17日(金) 鈴石 雅子 金井 美保 大場 理恵	T B I Ⅳ	<ul style="list-style-type: none"> 問診から口腔内診査、歯科保健指導までの流れを相互にて行い、手技の確認、指導計画立案を行う。
第29・30・31回 (2) 1月24日(金) 1月31日(金) 鈴石 雅子 金井 美保 大場 理恵	T B I Ⅴ	<ul style="list-style-type: none"> 前回の情報から立てた指導計画の内容を実施する。